

市川市議会 2つの百条委設置

大久保市長 外部監査実施でひとまず混乱回避

政務活動費を使った一部議員の切手大量購入問題に揺れる市川市議会に、切手の大量購入について調べる百条委員会と、この百条委の設置に賛成した議員の政務活動費全般について調べる百条委が設置された。2つの百条委が設置されるといふ異例の事態を受け、大久保市長は両百条委による調査より先に、地方自治法に基づく外部監査を実施することを決断。議会側も了承し、ひとまず外部監査の結果を待つことになった。

切手問題追及で大揺れ

切手購入問題のそもそもの発端は、市内在住の男性が書いたブログ。男性は市議会議員の政務活動費を独自に調査し、切手問題のほかに「市政と関係ない資料を買っている」「原発停止に伴う自治体の調査をどう市政に生かすか疑問」などと疑義を指摘していた。

このうち切手問題に関しては、男性が8月に市に監査を請求。市監査委員は11月、「監

査委員として調査した限りにおいては、政務活動費で購入した切手は全て政務活動等のために使われたものと判断する」と男性の請求を棄却した。

切手の購入を調査する百条委は14人が調査の対象。先月16日の12月定例市議会最終日に、越川雅史氏(無所属の会・市民ネット)から「監査の限界の中で

を求める議案が提出されたが、議長が議場に現れずそのまま流会して廃案となったため、先月24日の臨時議会に改めて提出された。

すると切手購入側の議員は、この百条委設置に賛成した議員のうち公明党などを除く18人を対象に、政務活動費全般について調査する百条委設置の議案を臨時議会に提出。提出者の金子正氏(みらい)

疑義は切手だけでは無いのに、切手だけが百条委の調査対象となるのは公平性に欠ける。政務活動費全般について調査すべき」としている。ただブログでは、

政務活動費全般に関する百条委の設置を求めた議員も多くが切手以外の疑義を指摘されているが、調査の対象には含まれていない。逆に、調査の対象者の一部には、ブログで疑義を指摘されていない議員も含まれている。

これを受け、大久保市長は両百条委の調査より先に外部監査を実施する方針を決め、

直後に開かれた各派代表者会議で報告。各派もこの方針を受け入れ、ひとまず外部監査の結果を待つことになった。大久保市長は「2つの百条委が設置されると、調査を行う議員がもう一方の委員会から調査を受けることになり、職務に影響しかねない。公正な調査になるのか市民から疑念を抱かれる恐れがある」と説明した。

岩井氏が議長辞職

市川市議会の岩井清郎氏は先月24日、12月定例市議会を流会にして混乱させたとして議長を辞職した。後任を選ぶ議長選挙は、1月上旬に臨時議会を開いて実施する予定。